



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

全米輸案内

(令和6年4月1日版)

一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会

全米輸について

1. 名称 一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
2. 設立 平成 27 年 (2015年) 8 月 13 日
3. 所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町 1 5 - 1 5 食糧会館 6F
4. 代表理事 木村 良 (きむら りょう)
5. 会員数 87 会員 (令和6年4月1日現在)
6. ホームページ <https://zenbeiyu.com/jp/>
7. 事務局 電話番号 : 03-5643-1720 FAX : 03-5643-1721
メールアドレス jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

8. 目的

- (1) 我が国の良質な米・米関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、オールジャパンで取り組むべき共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制を構築すること。
- (2) 米、米関連食品輸出の拡大を通じて、我が国のコメ生産者の所得向上に資すること。
- (3) 米、米関連食品の輸出拡大に向けて、協議会会員間の相互の情報収集、共有を通じ、各種連携を促進し、必要に応じて輸出事業の共同展開に資すること。

<会員一覧>

■全会員 87 社 (正会員 64 社、賛助会員 23 社)

■重複会員 10 社

米 (46)	
1	アイリスオーヤマ株式会社
2	秋田なまはげ農業協同組合
3	板橋貿易株式会社
4	伊藤忠食糧株式会社
5	株式会社大潟村あきたこまち生産者協会
6	木徳神糧株式会社
7	株式会社クボタ
8	ごしよつがる農業協同組合
9	有限会社小柳農園
10	庄内みどり農業協同組合
11	JA全農インターナショナル株式会社
12	食協株式会社
13	株式会社食創
14	株式会社シヨクレン北海道
15	株式会社神明
16	全国農業協同組合連合会
17	全国米穀販売事業共済協同組合
18	千田みずほ株式会社
19	株式会社種商
20	株式会社ツナギ
21	東洋ライス株式会社
22	株式会社名古屋食糧
23	株式会社八代目儀兵衛
24	糊バン・パンフィック・インターナショナルホールディングス
25	株式会社百笑市場
26	フィーノ株式会社
27	ホクレン農業協同組合連合会
28	株式会社松原米穀
29	株式会社ミツハン
30	みな穂農業協同組合
31	大和産業株式会社
32	ヤンマーマルシェ株式会社
33	ライフレンド株式会社
34	株式会社ウォークス・トレーディング (賛助)
35	株式会社荻原アグリズ (賛助)
36	九州農水産物直販株式会社 (賛助)
37	カネシメホールディングス株式会社 (賛助)
38	一般社団法人高機能玄米協会 (賛助)

米	
39	株式会社隅田屋商店 (賛助)
40	一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会 (賛助)
41	合資会社羽生惣吾商店 (賛助)
42	株式会社馬場園芸 (賛助)
43	三井物産アグリフーズ株式会社 (賛助)
44	三菱商事株式会社 (賛助)
45	みやぎ登米農業協同組合 (賛助)
46	株式会社むらせ (賛助)

日本酒 (15)	
1	天吹酒造合資会社
2	大関株式会社
3	尾畑酒造株式会社
4	菊正宗酒造株式会社
5	黄桜株式会社
6	小西酒造株式会社
7	コンタツ株式会社
8	玉乃光酒造株式会社
9	長龍酒造株式会社
10	日本盛株式会社
11	人気酒造株式会社
12	白鶴酒造株式会社
13	株式会社mum Holdings
14	株式会社安福又四郎商店
15	中笠酒造株式会社 (賛助)

米菓 (8)	
1	株式会社イーハトーブ東北
2	岩塚製菓株式会社
3	越後製菓株式会社
4	全国米菓工業組合
5	株式会社ジャパン・ファームプロダクツ
6	株式会社鳴海屋
7	森白製菓株式会社
8	酒田米菓株式会社 (賛助)

包装米飯 (9)	
1	株式会社ニチレイフーズ
2	株式会社プリミティブ・ドライブ
3	株式会社ウーケ (賛助)
4	アイリスオーヤマ株式会社 (再掲)
5	株式会社大潟村あきたこまち生産者協会 (再掲)
6	ホクレン農業協同組合連合会 (再掲)
7	越後製菓株式会社 (再掲)
8	東洋ライス株式会社 (再掲)
9	株式会社ウォークス・トレーディング (賛助・再掲)

米粉・米粉製品 (9)	
1	群馬製粉株式会社
2	小林生麺株式会社
3	株式会社波里
4	熊本製粉株式会社 (賛助)
5	株式会社ムシロジックホールディングス (賛助)
6	株式会社大潟村あきたこまち生産者協会 (再掲)
7	木徳神糧株式会社 (再掲)
8	株式会社名古屋食糧 (再掲)
9	東洋ライス株式会社 (再掲)

その他 (10)	
1	株式会社エス
2	元気寿司株式会社
3	鈴茂器工株式会社
4	株式会社STANDAGE
5	パナソニック株式会社
6	株式会社サタケ (賛助)
7	ジーエフサポート株式会社 (賛助)
8	スターフィールド株式会社 (賛助)
9	株式会社プレナス (賛助)
10	株式会社フランクジャパン (賛助)

「農林水産大臣認定品目団体」

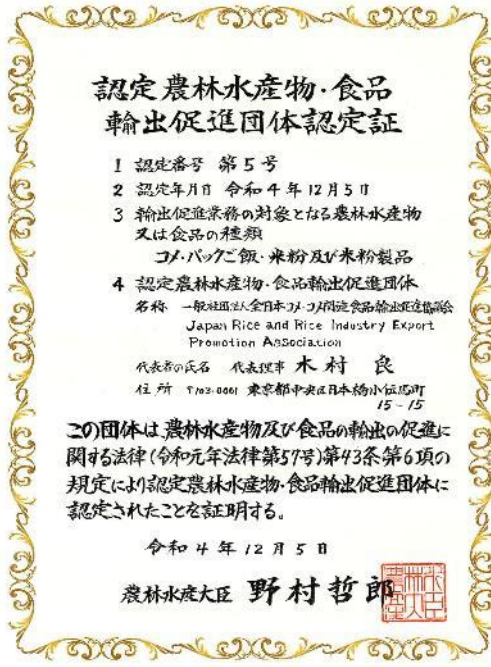
全米輸は、令和4年12月5日付で、農林水産大臣より輸出促進法に基づく「認定農林水産物・食品輸出促進団体（認定品目団体）」として認定されました。また、12月14日には、農林水産大臣から認定証の授与が行われました。

農林水産省認定プレスリリース



この認定を契機に、更なる日本産コメ・コメ関連食品の輸出拡大に努めて参ります。

(写真：農林水産省提供)



岸田総理大臣



野村農林水産大臣



農林水産大臣から認定証を授与される木村理事長（中央）



全米輸事業について

全米輸では、前記の目的を達成するため、次の事業を実施しています。

- (1) プロモーション及び商談会等の実施を通じた日本産コメ・コメ関連食品の海外需要開拓
- (2) セミナーの開催等を通じた海外・輸出についての情報発信

入会について

1. 入会のメリット

会員のコメ・コメ加工品の輸出拡大を支援するため、以下の取組を実施いたします。

- (1) 全米輸が実施する海外でのプロモーション事業等への参加 (正会員)
- (2) 専門家による輸出関連相談対応 (正会員・賛助会員)
 - ・全米輸が契約した輸出に関する専門家にご相談に応じます。
- (3) 全米輸が主催するセミナー(市場の状況、対応策等)への参加 (正会員・賛助会員)
 - ・全米輸事業で収集した海外情報(コメ・コメ関連食品の海外規制の状況、市場の動向)等、会員の輸出拡大に有効となるオンラインセミナーを実施します。

セミナーテーマ事例

- 「日本産米の優位性調査研究事業結果について」木村 映一様(農研機構)
- 「外国産ジャポニカ米の競争力について(米国、イタリア)」イバン カルデナス様(セグマーリサーチ合同会社)
- 「コロナ禍で注目される海外EC市場/ジェトロEC事業の紹介」栗原 環様(JETRO)
- 「国際輸送の種類と特徴」角埜 漠 様(A Knots 株式会社)
- 「日本産コメ・日本酒 購入者・飲食者の実態(米国・香港・シンガポール)」清川 旬一 様(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)
- 「コメに係る効率的な輸出物流・品質保持手法について」折笠俊輔様(流通経済研究所)
- 「主要国におけるコメ・コメ関連食品に関するEC調査」(JETRO)

- (4) 会員専用ホームページでの情報共有 (正会員・賛助会員)

会員専用ホームページにて、以下の情報発信を行います。

 - ・ 専門家による海外マーケットについてのレポート(コメ・コメ加工品に特化した情報発信)
 - ・ 最近のコメ・コメ加工品の規制改正の情報
 - ・ 過去の事業実施結果の紹介 等
- (5) 輸出PR用のロゴマーク、PR用冊子、写真・動画等の提供 (正会員・賛助会員)

2. 会員の種類・年会費・事業参加負担金

- (1) 正会員 : 年会費 15万円、事業参加負担金 1事業参加につき20万円(令和4年度以降の上限金額)
- (2) 賛助会員 : 年会費 3万円
- (3) 名誉会員 : 年会費 なし ※名誉会員は理事長の推薦による法人、個人

3. 入会手続き

入会をご希望の場合、**入会申込書及び会社概要、国別輸出実績**をご提出いただきます。書類の受領後、理事会での承認を経て入会となります。**正式な入会は、会費の納入を確認した時点**となります。

これまでの取組成果（令和4年度事業）

全米輸では、日本産コメ・コメ加工品の輸出拡大のため様々なプロモーション・海外市場調査等を実施しています。令和4年度は、以下のような事業を実施いたしました。

（1）カナダにおける日本産コメ・コメ関連食品の流通開拓事業

日本食の人気が高まっているにも関わらず、日本産コメの輸出が限定的なカナダにおいて、商談会を実施し、日本産コメ・コメ関連食品の理解促進と輸出の拡大を図った。アジア系住民が4割と言うバンクーバーで実施した事で、日系流通だけではなく、中国系・韓国系等のアジア系流通とも商談をすることができた。州ごとに専売公社が管理するという日本酒の特殊性などもあったが、全商品合わせて約3,500万円の成果となった。



（2）フランス(パリ)における日本産コメ・コメ関連食品販促事業

新型コロナの規制が緩和され、人気回復してきた SIAL PARIS(10月15日～19日、出展社数7,000社、来場者数26.5万人)にJETROジャパンパビリオンを活用して出展し、日本産コメ・コメ加工品への認知拡大と輸出の拡大に取り組んだ。その結果、約9,400万円の成果となった。



（3）米国食品見本市への出展及びECサイトなどを通じた米菓販路新規開拓事業

日本のスナック菓子への関心が高まるアメリカにおいて、菓子関連のパビリオンを設置し、米菓に興味を持つ来場者が期待できる Winter Fancy Food Show(1月15日～18日、ラスベガス)に出展し、米菓を始めとするコメ関連食品の輸出の拡大を図った。米菓の大口商談もあり、約1億円の成果となった。



(4) サウジアラビアにおける日本米及び米菓のプロモーション及び販路拡大事業

中東湾岸地域において最も人口が多く、経済規模も大きいサウジアラビアは、富裕層も多く、日本食への需要が高まっている一方、日本からの直接輸出が米菓を除き殆どなかったため、コメ・コメ関連食品の新たな販路開拓と売上の拡大のための商談会を実施した。入国のための手続き等で難しさもあったが、約1,360万円の成果となった。



(5) 日本産コメ・日本酒購入・飲食者実態調査(香港・シンガポール・米国)

日本産コメの主力市場である香港とシンガポール、需要が大きく伸びる余地がある米国市場において、さらなる市場の拡大を図るために、消費実態調査を行った。分析の視点の中では、初めて食べた消費者と、続けて食べている消費者に分けてみている。1年以内に初めて日本産コメや日本酒を飲食したほとんどの消費者は、どの地域でも「おいしい」ので「また食べたい・飲みたい」と考えているが、実際にはそれが続いていない事が見えてきた。不満点を聞いていくと、「価格」を指摘する声はもちろんあるが、それ以上に「パッケージ情報がわからない」「どこで食べられるか(飲めるか)わからない」と言った課題が見えてきており、今後の施策に反映する事を検討している。

(6) 英国における日本産コメ・コメ関連食品販促事業

アフターコロナの市場で質の高い食品による差別化を考える中食・外食関係者、ディストリビューターや小売店を対象とした展示会Specialty & Fine Food Fairに出展し、幅広い商談先との接点を作ると共に、参加会員の要望するバイヤーを招聘した商談会を組み合わせ、日本産コメ・コメ関連食品の需要開拓に取り組んだ。商談会の成果もあった事で、合計で1,250万円の成果となった。



令和5年度実施事業

①アメリカ西海岸における日本産コメ、コメ関連食品プロモーション



全米輸中期計画における重点市場であるアメリカの主要市場であるロサンゼルスにおいて、すでに取り組みが進んでいる会員、新規の受容を開拓したい会員、新規に市場に参入したい会員等、各会員の要望に合わせたバイヤーを招聘する商談会を実施する。

- 1、実施地域：ロサンゼルス
- 2、実施時期：令和5年11月上旬
- 3、実施内容：コメにおいては寿司に次いで人気が出てきている「おにぎり」を取り上げたり、日本酒もシーフードとの組み合わせを提案するなど、新たな提案を取り込んだ商談会を実施する。

②アメリカ東海岸における日本産コメ、日本酒プロモーション(ニューヨーク)



全米輸中期計画における重点市場であるアメリカの主要市場であるニューヨークにおいて、すでに取り組みが進んでいる会員、新規の受容を開拓したい会員、新規に市場に参入したい会員等、各会員の要望に合わせたバイヤーを招聘する商談会を実施する。

- 1、実施地域：アメリカ（ニューヨーク）
- 2、実施時期：令和5年10月下旬
- 3、実施内容：コメにおいては、冬を前にしたこの時期に温かいごはんメニューを切り口に、日本酒はオイスターなどのシーフードとの組み合わせを切り口にした商談会を実施する。

③カナダにおける日本産コメ・コメ関連食品の流通開拓事業(トロント)



昨年度はアジア系が4割を占めるバンクーバーで商談会事業を実施し市場としての可能性を感じる事ができた。令和5年度は、アジア系比率は1/3ではあるが、カナダの最大都市であるトロントにおいて、日本産コメ・コメ加工品の商談会事業を実施する

- 1、実施地域：カナダ・トロント
- 2、実施時期：令和5年9月22日商談会
- 3、実施内容：日本産コメ・コメ関連食品のプレゼンスが低い市場でもあるので、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を正しく伝え、現地系・アジア系を含め、会員の要望に合ったバイヤーを招聘する商談会を実施する。

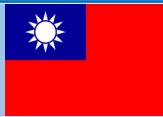
④サウジアラビアにおける日本産コメ・コメ関連食品の流通開拓事業



前年度に続き、中東湾岸地域において最も人口が多く、経済規模も大きく富裕層も多いサウジアラビアにおいて商談会事業を実施する。今回は首都リヤドで商談会を行ったが、今回は紅海に面したサウジ第二の都市ジェッダで行う事とした。

- 1、実施国：サウジアラビア(ジェッダ)
- 2、実施時期：令和5年12月初旬
- 3、実施内容：日本産コメ・コメ関連商品を取り扱う可能性がある現地の卸売事業者、レストラン、小売店（スーパーマーケット等）を対象にした商談会を実施する。

⑤台湾における日本産コメ・コメ関連食品流通開拓事業



日本文化が浸透しており、日本の食文化も理解されている台湾ではあるが、日本産のコメ・コメ関連食品については、十分に市場に受け入れられているとはいえない状況であり、本事業では日本産コメの理解を促進すると共に、新たな販路開拓のための商談会とイベントを実施する。

- 1、実施地域：台湾
- 2、実施時期：令和5年11月下旬
- 3、実施内容：①現地有名ベーカリー、フレンチレストランと連携したセミナーやテスト販売。
②参加会員の要望に沿ったバイヤーを招聘する商談会。

⑥ドイツにおけるコメ・コメ関連食品の流通開拓事業



アフターコロナで市場が回復してきている欧州におけるSIALと並ぶ食品展示会ANUGAに出展し、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を来場する飲食業界関係者に幅広く伝え、商談をサポートする事で輸出拡大につなげていく。

- 1、実施地域：ドイツ(ケルン)
- 2、実施時期：ANUGAの会期は令和5年10月7日～11日
- 3、実施内容：①日本産コメ・コメ関連食品でANUGAに出展
②ANUGA後、デュッセルドルフで全米輸としての商談会を実施。

⑦米国食品見本市への出展を通じた米菓・コメ関連食品販路新規開拓事業



日本のスナック菓子への関心が高まるアメリカにおいて、展示会での新たな流通の開拓を図る。

- 1、実施地域：アメリカ(ラスベガス、ロサンゼルス)
- 2、実施時期：令和6年1月21日～23日
- 3、実施内容：①Winter Fancy Food Showに出展、その場での商談



**JAPAN RICE AND RICE INDUSTRY
EXPORT PROMOTION ASSOCIATION**

＜お問い合わせ窓口＞

全米輸では、今後も日本産コメ・コメ加工品の海外需要開拓のために様々な事業を実施予定です。

この事業案内及びご入会についてのお問い合わせは、以下の窓口までお問い合わせください。

電話：03-5643-1720 メール：jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

担当：細田・仲地・田中